

なかつか 亮



新年度

予算要望を区長に提出 くらし応援、経済対策の継続・充実を求める

昨年末、日本共産党品川区委員会と同区議団は
新年度予算に、くらし応援や経済対策など区民要望
を盛り込むよう要望書を濱野区長に提出しました。
当日は6名の共産党区議と鈴木地区委員長、鈴木
ひろ子さん、石田ちひろさんが参加しました。



要望書を濱野区長に手渡しました。
なかつか亮は左から3人目後方です。

要望書は昨年12月
27日に提出。区政懇
談会や生活相談、区
民アンケート等に寄
せられた、ご意見・
ご要望を政策化した
ものです。

区側は濱野区長と
本間副区長、日下部
企画部長が対応しま
した。共産党は厳し
い経済状況が続く中、
区民のくらし応援、
中小企業や商店街の
営業支援強化の立場
で、地方自治体の本
旨である福祉増進を
しっかり進めること
などを柱にするよう
求めました。裏

くらし応援を予算の主役に —要望した7つの柱(裏面に具体的項目)—

- ①地方自治体の本旨である福祉増進の立場を貫く ②中小企業支援へ緊急経済対策の継続、経営と雇用の支援強化 ③国民健康保険料を上げないこと ④介護サービス利用料軽減と特養ホーム増設 ⑤子育ての経済的負担軽減と認可保育園増設 ⑥破綻した再開発は見直し、住宅耐震化と区営住宅の建設 ⑦「教育改革」は区民参加で見直し、検証を



週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載

なかつか亮メールアドレス「ryo@nakatsukaryo.net」

日本共産党の予算要望（主なもの）

＜中小企業・仕事づくり＞

区発注の物品購入や公共事業に小規模業者が参入できる小規模地業者登録制度創設／商店街の装飾灯電気代全額補助／空き店舗を活用し若者チャレンジショップ創設／町工場の賃料やリース代助成制度創設／住取りホーム助成の継続と使いやすい改善

＜高齢者・障害者福祉＞

特養ホーム、老健施設の増設／介護保険料引き下げ、多段階化で所得の少ない方の保険料とサービス利用料減免／高齢者の医療費助成制度／紙おむつ支給制度充実と入院時の現金支給制度創設／障害者の入所施設、グループホームの増設／公共施設の聴覚障害者用磁気ループ設置

＜子育て支援＞

希望する全ての子どもが入れるよう認可保育園の増設／出産祝い金制度創設、出産育児一時金増額を国に働きかける

＜リサイクル・温暖化対策＞

ビル建設の植樹・壁面緑化、太陽光パネル

設置の義務付け。公共施設、個人住宅の自然エネルギー利用の促進／マンション、企業、公共施設でのゴーヤやアサガオなどの緑のカーテン作り普及

＜まちづくり・防災＞

木造住宅の耐震診断無料化、簡易耐震補強制度の改善／高さ制限の導入で高層ビル規制／ビル風被害対策／病院や介護施設、区役所など区内循環ミニバスの運行／駅ホームの転落防止「可動柵」設置

＜教育＞

学校選択制や教育改革は区民参加で見直し、検証を／少人数学級の実施／小規模校への社会科見学バス代や卒業アルバム代への補助増額

その他、＜情報公開＞＜若者の就労支援＞など計210項目を要望。新年度予算案は1月31日に会派説明が行われ、2月始めにプレス発表です。予算議会は2月24日からスタート。議会傍聴に是非、ご参加下さい。日程など詳細は、区議控室まで。

大井三ツ又交差点の改善を 一品川区に再度要請



形も複雑で歩行者事故も多い交差点のひとつが大井三ツ又交差点。以前から「スクランブル交差点（歩車分離）」にして、安全にスムーズにわたれるようにしてほしい」との要望があがっています。特に大井4丁目（写真左下）から大井町方面（写真右上）は大変です。私は1月25日に、改めて交差点改善を区に要請。区は「警察と再度、協議します」と説明しました。

この問題は長年の住民要望。引き続き、粘りずよく改善を求めていきます。なかつか亮



次の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

2月25日（金） 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231